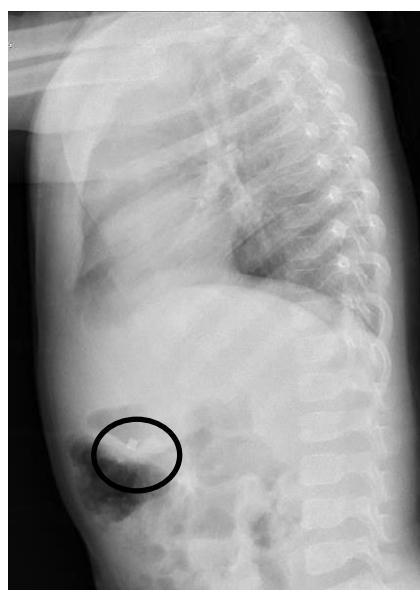


## Injury Alert (傷害速報)類似事例

加熱式タバコの誤飲による消化管異物 (No.121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物の類似事例 5)

事例	基本情報	年齢：1歳0か月 性別：男児 体重：11.5kg 身長 80cm
	家族構成	父、母、姉(8歳)、姉(6歳)、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		タバコ誤飲・金属片誤飲
医療費		入院 25,893円
原因対象	対象名称	ここをクリックしてテキスト入力加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック
	入手経路 使用状況	前日に父が新品を近隣のコンビニエンスストアで購入 父は1日15本ほどを日常的に喫煙している
発生状況	発生場所	自宅
	周囲の人 周囲の環境	姉2人とリビングで遊んでいた。父は隣室でテレビ鑑賞。母は出勤して不在。
	発生年月日	2022年3月X日(日) 午前7時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	2022年3月X日午前7時半ごろ、姉たちはゲーム・本児は高さ約50cmの机につかまり立ち、遊んでいた。母は出勤して不在、父は隣室でテレビを見ていた。午前8時半に本児が嘔吐し、吐物にタバコの葉が付着していた。本児がつかまり立ちしていた机を父がみると、机上に載せていた新品の加熱式タバコ(元々封を切られた状態で置いていた)のふたが開いており、フィルター部分を残して1本無くなっていることに気付いた。午前10時に医療機関を受診した。

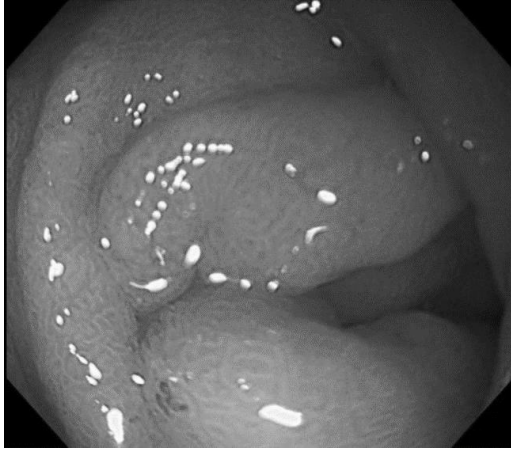
<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>本児は無症状であったが、単純 X 線写真で鋭利な金属片が胃内に認められた【図 1 (a)(b)】。消化管損傷・穿孔のリスクあり、小児科医・麻酔科医・消化器内科医の協働のもと、午後 0 時半に全身麻酔下で上部消化管内視鏡による摘出術を施行した。胃内には異物を認めず、十二指腸の下行～水平脚近位まで内視鏡を挿入して観察したが、やはり異物は観察できなかった。十二指腸角は浮腫を認め、異物の通過後の変化と思われた【図 2】。内視鏡による摘出は困難と判断、観察のみで終了となり、同日退院になった。退院後外来を予定していたが、X+1 日の午後 8 時ごろ、おむつ内に排泄された便中に異物があることを父が確認したと電話にて連絡があったため外来受診はない。</p> <p>行った治療・処置：全身麻酔、上部消化管内視鏡的摘除術 入院日数：1 日間（うち集中治療室 0 日）、合併症・後遺症：なし 転帰・予後：良好</p>
<p>キーワード</p>	<p>加熱式タバコ、誤飲、金属片、消化管異物</p>



(a) 正面像

(b) 側面像

【図 1】胸腹部単純 X 線写真 胃内にあると思われる異物（円内）



【図2】 上部消化管内視鏡画像  
十二指腸粘膜に浮腫がみられる